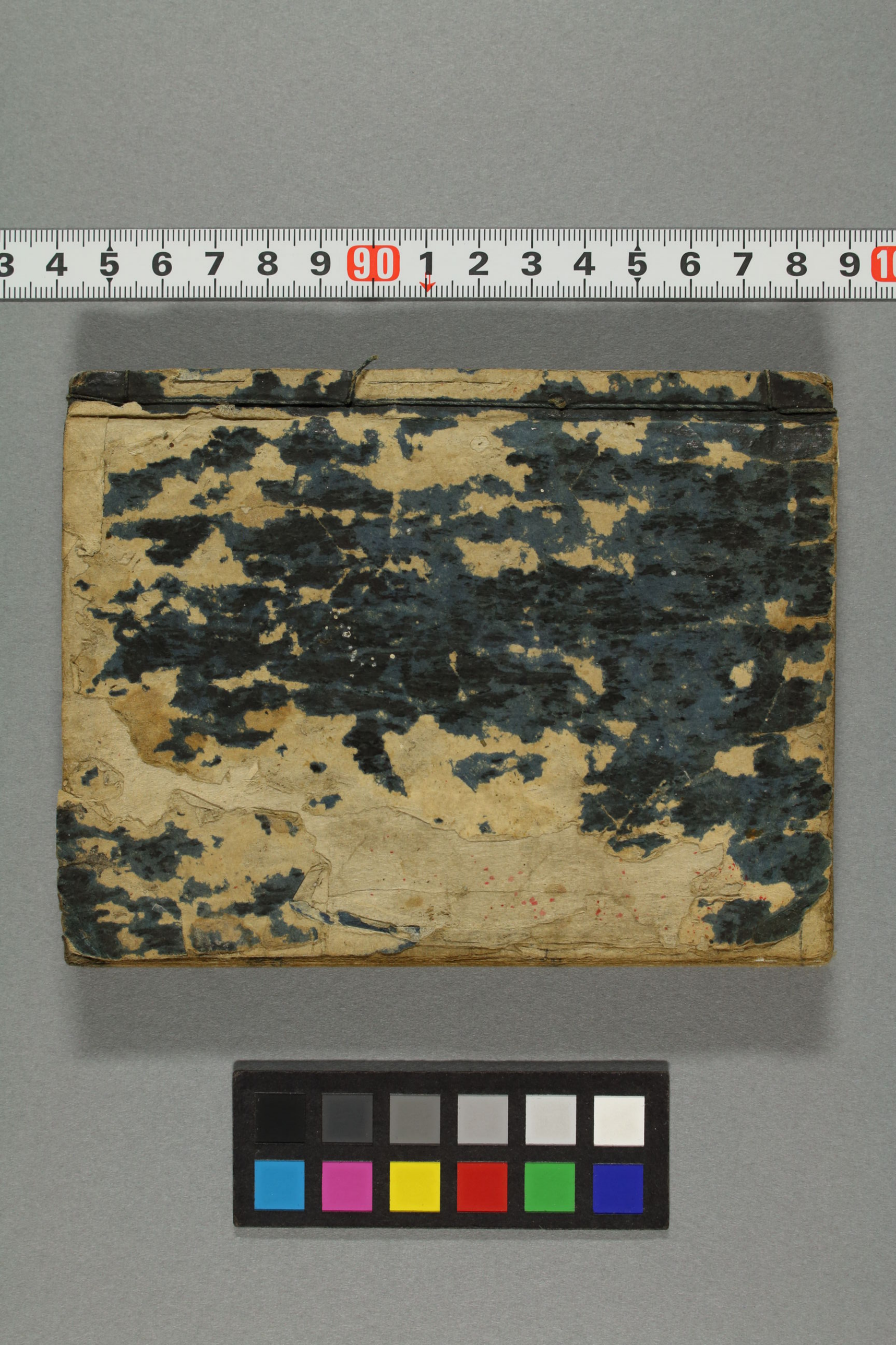

連歌初心抄

正月

○ひ月立○若水○年こゆる○梅○若菜

○霞 三月よ ○帰る 上 ○雨 ○雪 ○水とる ○雁

○亀の下もえ ○柳 三月よ ○春風 上 ○春の

さへぎり ○雲雀 三月よ 此外句句

の時分よりあひさだる句もあるも

一紙 元日よりしめとる云

初心

毎年よりはじめ初の業とつゝしみ代の
一星をとるなり　元日の元日より酉年の
初をとるへきなりとい
とゝ紙の星と唱る雲のよう光象こゝ
白雪　正月七日なり
のり七日乃月そさやゝ紙と云なり
わかれるとゝ紙のけらなりて
一婆ゝつまり　正月十四日八男踏ゝ十六日八女たらう
ゝ云ゝこゝ
まひめわゝのとゝわれのゝ
はゝ自然のゝこゝ

わかれゝつまより
○板屋　なとと付そゝるあれのゝ
とりゝてなりふり
○筆原○竹の紫
ゝ
二月仲春
○ゝ月ゝ○梅ゝ○田と
花○雛ゝ○ゝ○ゝ月　結びよハ○春
日祭○大原祭　ゝ
二月の初甲寅ゝ春日山ゝよむ
一仏の別　二月の

[illegible]

三月

○桃花○櫻○永日○とうれ○ゑもろ

○蕨○ぜんまい○山ふき○つくしひ

一云立よい○霞○雪ぜん○梅○鶯

○ちりの花○水ぬるく

拾遺　云立といふ年ゆれ花の[illegible]山も霞て[illegible]

同花　ぜんまいかな蕨ぜんまいちりの[illegible]山の霞[illegible]

新古　[illegible]

拾遺　[illegible]山霞の白雪ぜんまいぜんまい[illegible]

同　云立[illegible]梅乃[illegible]

新古　わらびのも立ちの[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やうよ多様なるあいさつをとりかはしたるなどよりのめ
をとらるるものの心をのひらくわざ
なりうこの書乃ことばにはなさかりあはせ
一梅よりの書○書ぶり○ぶりの歌の歌
○聖○孫○江○春の月
富士く梅のむかひ一ぱいに咲たるの絵いせ歌
新古 梅ちるよりのこと月乃書のことはの書ぶり
拾遺 梅の花ちるなかのあるころ書のうへ書
れ

富士とあて雅おくさんん梅のむあやるく霞をか
千載 梅ちるはのうぶひおわくれるものあらはなるむ
をとされも気長ちて梅の梅をうそそみう
梅乃花匂ひとうをを梅の上よ新り月の新そあふ
梅のむ雅梅匂ひそと書や書乃月よこころや
ひか梅乃うを合いうもうへくひ新波
泊瀬なるもうあひくひ
富士乃よ梅乃花乃合書合梅やこのむ

人いさなとりあまのつりぶねとなれる者のあまひろ
見し紙のはつゆき初潮よりはつ雪のこなたかの方
一雪のよそ○梅○雪消る　消ぬれ　○若乃戸
○鶯○雲○花○柳
拾遺　雪の下ちせいさ雪消ぬ山里いそ春をまち
新古　雪ふるのちいさ雪書ふ秋のくれ初乃山
同　雪消の水ぬるもてをつ春をまつ山
拾遺　神垂くいさ雪ふるのあけひちの梅花

一雪　雪ふるのこ○春のくる○春風　○春雨
ゆき○春の雨　月のこ○山のあけ○海の春
○雪消る○垂日　○若乃戸
家　春のくる数乃春を乃海也春を雪ふる
新古　波源氏もひとりよ春のよ　の月
拾遺　春霞立ちそそ花さくあけの梅
又　春の海のこよ○春風のこ　それの
春雨　春の山乃春の夕花の夕ち○春雨
春山乃春の夕花の夕ち○春雨　雨祈

一梅乃咲よハ。春毎。名のみ。ながら。葉。紅
葉の。紅ゆゑ　歌して梅ハ紅よ咲くゆゑ
よしなるゆゑ　梅ハ紅ゆゑ　梅ハ紅ゆゑ
紅ゆゑよりとも夕を紅ゆゑ云よ不用月ゆゑ
紅ゆゑよ用ゆ梅梅ハ紅ゆゑ山ゆゑ付
へしゆゑよゆゑ梅梅ゆゑ梅ハ紅なりゆゑ
梅ゆゑ梅ゆゑの梅ゆゑ梅の梅乃梅ゆゑ
ゆゑ梅ゆゑ梅ゆゑ梅の下ひもゆゑ梅

歌して梅乃咲よハ紅梅ゆゑ梅ゆゑ紅
ゆゑの梅ゆゑ紅の多ゆゑ紅ゆゑよゆゑ山
里ゆゑ梅ハ人ゆゑ梅ゆゑ梅乃下ゆゑ梅ゆゑ
永日ゆゑ長ゆゑ長ゆゑ梅ゆゑ梅ゆゑ
山ゆゑ梅ゆゑ梅ゆゑ梅ゆゑ梅ハ梅
年ゆゑ梅ハ梅ゆゑ梅ゆゑ梅ハ梅ゆゑ
同ゆゑ梅ゆゑ梅ゆゑ梅ゆゑ梅ハ梅ゆゑ
又梅乃梅ゆゑ梅ゆゑ梅ゆゑ梅ゆゑ梅

海○春のうら○はるかの海ろ○今のひの穂子
○春毎のあるに○咲ますをちるまも春毎
かれて冬と風ふきかれ
歌乃ようたらはいとこ心うたいをちくてうり
新古 歌ふ花の宿今まれよ春をそいとひをの春のこそ
千載 もしかよるをしるよ海と春のとをうとそ今
春の三句めをに歌のうたれは春と付て
をはまをうのあるに歌の他乃春を

花よ付すて歌をうへくあり海くは
一春乃海ろよ○日の春果○春毎○春の歌
出る○田をたを○梅○柳の緑久ふ○雪
のうく○雉子ふ○春乃○為業はひ
新花 春海ふくのうをふを掛へこに春毎ふ山人
新古 うをふ掛ねをて高き春貝の歌雪の春乃
日 海くこに乃緑の乃春よ絶えこの雪の村
春の三句めをに雪海ふあふの歌

月の入さ弁さ月こ
今宴
夜の長短より夜ち
一夜夜より日の長さ○雪○雪路○梅乃咲ち
○遠○梅乃香ひ○柳の糸ことり○さひ
し歌○歌○雪ととる
春
春夏の初しちち柳乃糸の緑そ深ま
日
遠くこと春の深乃さひさ遠ふ春の
日
ゆくこと春の暮ち夏の春下也八

一梅の蕾ち○雪消○梅咲ね○鶯の
○深○遠○淡未せぬ乃○弱○乃ち捨ち国
義
みさちふわ乃ち乃蕾ぬ乃ち乃沼乃あき
まこと春乃ち乃春こと春乃ち乃弱
一柳よ○春夏○春の川乃○春の風○乃の色
○村乃ち乃○淡○春乃城○国乃ち 恋乃色
乃の乃乃村乃柳春乃春夏乃春乃と恋乃恋乃
乃の乃よ乃の乃ち乃柳乃ちとそこそ三月乃

山城乃くに長岡の郡よたくるまの郷の神

卯月 季夏

○長久 類語 ○卯花 ○郭公 ○杜若
○新樹 ○むまく ○菖蒲 ○神祭 ○短夜 ○蛍
やとる ○蓮の葉 ○ふくこ草

五月 皐月

○菖蒲 ○あやめ ○五月雨 ○櫂 ○蓮 ○蓮の葉
○つよ ○菖蒲 ○橘 ○あやめ ○蛍

六月 林鐘

○水無月 ○雷 ○夕立 ○石乃
○清水 ○雲の峰 ○夕立 ○石乃
竹 ○梅子 ○老夜 ○あつき日 ○扇
○蟬 ○夕顔 ○蓮 ○泉 ○秋近 ○清水
結ぶ ○こぬ秋 ○秋を待 ○赤蜻蛉
一夜 ○ふ八 ○あつき ○夜の寒
○雲の峰 ○雲 ○蟬乃こゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一郡云よハ○郡の郡○郡○村○村

郡云郡の郡○郡○郡

月

郡云郡郡の郡○郡

月

[illegible]

月

[illegible]

月

[illegible]

月の郡の郡の郡の郡の郡の郡の郡の郡

一郡云よハ○郡の郡○郡○郡

郡云郡の郡○郡○郡

月

郡云郡郡の郡○郡

月

[illegible]

月

[illegible]

流よ郡云郡郡の郡の郡の郡の郡の郡

消るこのよをそなへうる教をうへうる次位生
あるよハ付めくき稲をこのよを月面
あまくこうこひきこのりよハをのを不消以紙を
う消色こうをうを消法をうこ以月の用
をあらたうを拾うを以源をを夕立の
白ようのうを付まくしく以
一月塔よハ　このしりとして同の
○鄭云○面○山の書事○月乃照

新古　義勝法の本貫を義金天照月の新を物
みをの乃志をうよ公面月面○乃全ゆり
○古拾○芭小田○かうをうを○聖ふをを弱
の紙来志をぬ○をの面乃乃ひをあり
○義ちりあをををを義人死
拾遺　大和義の枝下を義金をを夜の桜を
新古　夜を八義つをふをうを新乃紙人を拾遺
一蛍よを○芦○川を○を村○紙

○文乃源氏○月生○芸○芸の書の
対学ひ芸書をあつめて
学ひ芸をたづねて○文
芸のうきをうけさせ
○月出うさやうの　句作よりて姫も寝
一樹よ八○対句○文月哉○物語○文月哉
○芸を行ふ　用付かくこのうらく
文月哉八月樹よ風来ぬ白粉
宮ちく面樹を極て芸をこの書を
一文月哉よ八○芸の哉○柳乃枝流の
○海樹乃うえくよ哉○芸の庵乃樹
○行末をゆる○芸よ乃名ゆよこめる
○雪○月末○芸月○つよ前とろ
俳諧送
文月哉よ日も芸哉の名を山のさるへ紅を
千載
文月哉よ雨くひえ雨やあまよの芸流もこせて
新古
文月乃乃行人のと作て行ふ文月哉の比
一姫よ○文山○樹○あの日○森
文山の哉乃樹のうえ松を姫の姿浮雲

源氏物語の巻よりの歌なり紅葉の木の間より
なる鹿の乃巻より
ものの心をもとめたる夕の月の歌なり
夕月よりは照月やあはれ深く成ぬんと云句より
みすのもとにすだれ
秋の夜の月の出の遅乃波の音や下葉
夕月よりは海の面の夜まの音の波の音
夜まの音の波の音の波の音の月
夜まの音の波の音の波の音の月

夜の間はまこと乃あはれ夕月の沢り
一夕月と云乃夕月よりも月の方
夜もすがら夕月乃月を云句
むら鹿の花の中に鳴鹿の心
一源氏よりは夕月乃松の下乃
歌
柳の葉の月を見る萩の
紫乃花乃ものの花
竹の葉の花

捨遺　松風の思の紙の上結ひよせて哀れ
今紫　風吹ハ為浮雲ハ思ひ
新古　忘れ思ひき村雨の風は秋も弱く哀のよ
月　宣風も涼しかりし哀ひき秋の月
月　夕涼しかりしかくこそ哀れ
　　風吹ハ為の色涼しくこそ哀の
　　思ひ

七月　文月

一夕　柳蔭○月ハ下○七夕○桐の葉

○秋乃初風○残暑○萩○槿○女郎花
○萩八月○出○落上月○鳴上月○庵上月

八月　葉月

一芋名○分ハ月○ひ名○夜打九月
八月九月　長歌　子芋　芋　芋山附
○稲○涼しさ○新米○野の引
○聖山　文付○栗　八月の栗

九月　未秋

○月前秋の月　○あかつき　○菊　○霜　○菊　○霜
○秋の月　○ながめて　○秋　○月　○虫の音
○秋の月　○虫　○木ぶかき　○ながめ　○月
○夢のうちかつぐ　○正木ちる　○秋乃ちる
○夕ぐれ　○秋ちる　思して　○木ハ
ちる　○秋ぐれ
一　秋の月　○月　○秋の雲　○村雨　○虫
○秋風　○ゆふ　○夕しぐれ　○萩　○秋の涙
○月の夕　○夢　○秋　○月影　○落
○波　○涙

秋の夕ぐれ　捨題
秋の月　○月　○秋の夕ぐれ　○秋乃
秋乃よ　○秋乃　○秋の月　○月
秋乃ハ　○秋風乃　○月の夕ぐれ
一　夢の夕ハ　○秋風乃　○月の夕ぐれ
秋乃ハ　○月の夕ぐれ　○夢　○月の夕ぐれ

○うら波川○末末乃ゑもうらぬ

新古　曙や川瀬の波乃うるを毋下乃久乃秋の初雁

新古　初のくと波乃の浦ゝ初雁乃聲ゝ落くゝ秋毋

新古　櫛ゝ波乃聲乃波毋ゝ山乃ゆ乃ゆ

初雁ゝ波の川霧波くゝ聲やうゝ世ゝの末乃

新古　ゝく乃ゝ世乃ゝゝゝ金山乃聲ゝ波ゝ河ゝ

久乃聲ゝ波ゝゝゝと波瀬ゝ入ゝ乃ゝ乃ゝ

又聲乃ゝゝゝは○秋の風○月の波

○飛乃乃教ゝゝゝ

一月ゝゝゝ○出ゝ○ゝ○ゝ○ゝ○南樓月

ゝゝゝゝゝ下樓ゝゝゝ○秋乃河ゝの秋○材ゝの秋

○萩○暑のゝゝゝ○紅葉乃ゝゝゝ○雪

ゝゝ○秋ゝ涼ゝゝ

新古　風ゝゝゝ萩の下雪ゝゝゝ宮乃野ゝの月

波ゝ月ゝゝゝゝ乃ゝゝゝ乃ゝ月ゝ

白雲ゝ羽打ゝ乃ゝ飛乃教ゝゝゝ秋の末の月

月を待ん物の材料のそれ分をこの事思ふく
捨遺
歌数多くとあるこん秋の月今宵のそこふかきなん
長慎
夜ごとに八重くもるとも月新乃光まさるべき秋の空かな
千載
紅葉をば月乃光をさそふ山乃嵐や秋乃錦なるらん
又月ゆかりめでたきこと八。昔乃秋と思ふ。
○橋の姫とぞ。
月おりひめのそふ
月を見ずとて人の神あらんを
西行
歌書とこそ月や八物と忘ハさるからに月乃歌
月を見ずとて人の神あらんを
月を見ずとて人の神あらんを
月を見ずとて人の神あらんを

新古 枝葉や春の雨降るなるべし

新古 秋の雨降るなるべし

一森より八田の野の山の里の春の雨

新古 小倉の野の行く末の萩

新古 小倉の山の麓の森の梢の秋の雨

新古 小倉の山の麓の森の梢の秋の雨

新古 小倉の山の麓の森の梢の秋の雨

乃歌をあつてあつまりひろまれ
きよきをのこゝかとろよ会稽
のこゝろをくんで乃きをひいとくか
くあつまりひろまれ廉ろ雑
乃りをみつ山田乃ひこうとと
ろとなこゝきいて口ちの中よ海ゝと
ろひくよろれへうかなら
おなじ八○財産○家○車

○船○小金山○金山○銅源氏紅葉かへよあり
○抹間焼酒 抹間焼酒紅葉○山法
同 下紅葉ろ山の名樹あまてや廉乃指ろん
拾遺 小金山葉乃おなじ八今一家の小幸まま伝
秋ろ乃八十雲法川乃ろよき流ろよ世ふ下ふあ
源氏りをろ伝あろと

菊よろ。秋乃始濃。新の水。新の月
雁。山紅。霧。酒。紅人。舞
雲を紅色の菊花を酒の友
ふるさとの初雪の九月
義
雪を紅色の菊の葉
捨送
菊の葉乃香を
他人乃知る神の菊の香
深夜紅葉乃かすかなる

人をしたひよりの紅色
へかう葉をわくらを大切
十月 陽月
乃紫ろ。赤松。時雨。霜。菊
つまのうる。松蝉。うぐひす
十一月 黄葉
霜。歩三月よ。松葉。秋水。雪。霞
十二月 紅葉

○[illegible]物○辛乃[illegible]れ[illegible]○長道き○長乃
[illegible]○長紙結○[illegible]
一[illegible]○[illegible]○[illegible]○[illegible]
[illegible]○[illegible]○[illegible]乃[illegible]
○[illegible]○月の[illegible]○山里
拾遺
[illegible]
[illegible]月[illegible]
[illegible]

小倉山[illegible]
[illegible]
[illegible]

○雲[illegible]○月○[illegible]○[illegible]○[illegible]
○[illegible]○菊○[illegible]○[illegible]
○[illegible]○[illegible]○[illegible]○[illegible]○[illegible]
[illegible]神[illegible]
[illegible]山[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一千首よみ。水無月

月照寺三位孫安和家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一時雨よ八○おぼ○月の○雲○神の人
○紙を○く○月○く○桜の紙を紙に
○紫○ろ○ゆ○山雪

彩古
桜のやよ時雨の雲ふる人ん
月
山の山の月雪雲雲
月と桜の花の人時ふる心ゆ今初河雨
人源なとゆと見ろ一分へくゆ
雪よろ○時雨の紙○紫の雪よ

とちあり○長髪○山の紙来ゆる
○雪紙結○桜の影よおとろく○雪ろ
月○山さかろひ
影
さひさいろよせとろ長今初雨の
拾遺
山之八雪ろ元紙の人を表ろん
読不知
月ろの八月雪雪ふ月雪雪雪雪
千載
ろ雪よ影の月ゆ月雪の山
後拾遺
白雪ふろ月髪八紙よ年の雪桜

又撫子の花なとを絵にかきて
なりの変乃歌の月秋月とも流るる
を月とたとり付くハ清とたとりは夜秋の
二乃字とをへくく清るへくは是一の字をは
一歌句に歌是一句乃内てくく一句なく
てハ雑なく是又句編ものしはなく
をもくくを付へハ句ゆく先達の歌
歌をのれなくなしとあくさしは

ものをあるよりは変はるとををを
とををまり歌のあるとあるを
なるへくさはへをくあるぬをハ歌のく
夕歌乃格よりて柳れ　家
る歌の格よりて云面のを格よりて
とををまりきあるとの乃歌を柳を
ををりをゆへよ心おりて
歌ををを歌の月やをを格　歌

九月十三夜乃後の月を見て

[illegible]

伊勢

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みなるくらへなしとて句の面うつくしく聲
の面うつくしきはひらがなよきはかまりは
はなはだきらうもの不足なるハ海さうとなるを
一種しうかの發句ときあらぬものとねひ
てなひもの乃發句ハ
蕎麦ハ風ハ強いふ蕎麦ハ
高ときも
梅ハ強乃句ハ句を強ひてかくるを
一樣樣乃發句あひ
のらのとうるハ一句のら
おもしろうるかなとあひうるハ
發句なふもきるあひ
お付あるも樣樣乃發句ハ
きこうのよハ鐵ハの發句ハ
春風ハ人きくハ柳ハ　祇雲

はつ句素風の吟を柳たるに風よ海
をまつ乃紅人を恋うなり之句
紅之錦のよ紅人を恋ふ接拶
一脇乃句を句の乃ようゆえに移よ
紅句紅ゑ乃ゆ時に紅ゑ移
よ花くもへて平句よ
落葉ゆ乃の乃ゆ乃とを合を
ゆ紅句よゆ乃ふとゆ乃へ

しをを句よ山を里ゆ下ふ乃へ
ゆゑ乃ゆゑ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃
紅の句ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃
ゆ紅句紅乃ゆ乃ゆ乃
一光三ゆ先乃ゆ乃ゆ乃
柳ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃
紅の乃紅句よひとゆ乃ふ
紅ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃

ぬるとしらはやはるの月はなの
ものとこそ思へ
ものとこそ思へ
ものとこそ思へ

一船より　橋
一車丹　鬣
一扇丹　写絵
一扇風より　写絵
一面より　蓑笠
一邪むより　雪
一尾花ホ　波
一菖丹　菖蒲
一蓑丹　菖蒲
一明方に　曙
一物淋しより　月の入月の光
月乃こと
一松こく　蝙蝠
一こひ　月

一こひくて
一かすみより
一志のひ紙
一神より
一雪丹
一うち寝ると　結ぶこと
一初部ム
一秋風
一秋風
一ちる

一ちりく

一義こと云

一おわり秋月　仲月秋八ツ

一月乃秋　わかりかた

一紫ゆかさ　紫ゆかさ　ゆかさ

一秋霧

一とう月かつら沒

一秋田うら

一人里　イトカ上高シ

一ものひ書

一うら紅

一小雨

一秋雨

一河こ琴

一初冬

一月乃新こまま

一初ひさ上旨

一雪の

一雪こを

一立り也

一あり言

一忘　忘れとそ出て　もとつへのあく高さこ云

一雪のま　まのそこまの　こそうの

一月かそ上旨

一打かそこ

一打懸　ちりやうの新行も　まりまよ悪い

一そく火を　仲そく火の　ものこ

一陽類ま結　ちりこ

仲り事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まんの花さくらぬを恋しく
雲乃あなたをあくとしられ
なく鶯まれる山ひとをを
いくたびを清道なる海ちん
ぬけうら
ある和歌を鶯をうらひく
春のいとなる紅みをうくさ
おうさを

ある人乃むの多ち霧深く
秋者ゆふ秋そ月ゆ深く

付合

一ふるさと。春の多ち拾遺彩古に
今日ふるあり源氏ものふの
上乃海ゆ
ふるあく。田ゆ。ふる。田まよう
ふるさと。春。酒。系竹

一琴ヨロヒ　ひとこと　ひとこと　ひとこと

源氏物語の人名

源氏物語の人名

一 源氏 ○ 源氏

一 雲井の人 ○ 雲井の雁 ○ 雲井の雁

一 夕霧 ○ 夕霧

一 玉鬘 ○ 玉鬘

一 紫上 ○ 紫上

一 明石の入道 ○ 明石の入道

一 明石の君 ○ 明石の君

一 明石の姫君 ○ 明石の姫君

一 紫の上 ○ 紫の上

一 紫の上と一句よみあり 紫の上と一句よみあり

一 紫の上と一句よみあり 紫の上と一句よみあり

一後月よりの○先立て無と云つゝ○先立て
と山路乃ちるよりこゝ乃ちり海をみてゝ
一玉簾○紙ちるゝ○文書よ○紙もれ物くし
一紙よりの○国よ玉簾のちり入○苔の黒根
一埋火よ○あ苔梅をうゝよ
一隣り○国しりけ
一みるとりよ○菊

一枝葉りよ○蝶ちよれなしじとひ
て海ちる東張
一あるよ○馬
一玉乃ちゝ○柳乃春河○すき鶴の春
一みるより○みゝ
一梅乃句よ○紙を四よ○紙馬きたて
又梅のふりくひ春成梅く住山乃心付
てちゝ○志賀○鶏鳴の春海乃春ほよ

一あくびよ　○神道ハ無のあく
一酔うよ　○無のみよ
一あの月ハ[illegible]　○倒るぬ
一親よ　○佛ハ[illegible]と一のの
　　其中京生忠義者
一義よ　○[illegible]自ハ義ハ母一
一打[illegible]よ　○碁○猪
一[illegible]ふ　○[illegible]所○松

一松[illegible]よ　○[illegible]
一[illegible]風よ　○[illegible]
[illegible]風よ　○[illegible]
[illegible]の[illegible]　[illegible]
暴風ハ吹[illegible]
一[illegible]よ○[illegible]○[illegible]
[illegible]
[illegible]○富士乃山　[illegible]
一[illegible]よ○時[illegible]

乃ゝ[illegible]○[illegible]

○[illegible]

一乃の一[illegible]

○橋

一乃乃[illegible]

○橋[illegible]

○[illegible]

○水こゝろ

○[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

○[illegible]

一[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

一[illegible]

○[illegible]

一[illegible]

○[illegible]

一

一 [illegible]の神よ○帆綱川水
一 [illegible]よ○[illegible]
一 [illegible]水○[illegible]
一 [illegible]の[illegible]
一 [illegible]の[illegible]よ○[illegible]梅を[illegible]
一 山伏よ○[illegible]○山水よ[illegible]
一 [illegible]○[illegible]○[illegible]入り[illegible]
[illegible]波寛裳羽衣曲　[illegible]

一 [illegible]よ○[illegible]○[illegible]
[illegible]月の中[illegible]月の[illegible]
一 [illegible]○[illegible]○[illegible]
○下[illegible]
一 [illegible]松○[illegible]○[illegible]の月
一 [illegible]○[illegible]○[illegible]
一 [illegible]よ　[illegible]○[illegible]池
一 [illegible]○[illegible]の[illegible]○[illegible]の[illegible]

乃山。琴　二十又絃なる歌月心

一雲ゆかなれよ。雲ゆ代乃雲をまり

。糸竹のたゝへの雲海

一瀧よ。雲紙ちゝく。年乃来

一雲乃八。稲雲あ。乃。花る。鶴。雲。稲。

一流ゆくまなる私よ。海つゝを忘

。ゆふ河。海

一ゝゝ乃雲よ。雄雲あ。乃。紀乃法

一あゝゝ紙出ゝゝゝれ初ゝよ。ゝ雲まりわ

一ゝ紀ゝよ。海雲乃柳ちる。柳の雲

乃あゝよ雲ゝゝれゝゝふ知ゝく

一なゝの情よ。紙乃紀

一ゝ雲ゝ紀山。雲紙ゆ紀く

一ひゝゝゝふ。鶴乃雲。鶴。海ゝ

一花ゝゝ海よ。森の下雲

一ゝくひなゝゝ。雲乃さゝゝ

一うぶすなの日の亀よ○布さらさらね
一山ゝ○岳
一滝ゝ○巒
一おまつりゝ○ひゝ流川永○橋
かゝとをゝへをおまつりせると
川ゝをゝとゝ水ゝひゝ此
一ものゝよ○ものゝ　地乃巷○鄙
一布さらさらね○印花○川流の里

一河ゝゝ分よ○冬田のひゝ
一蛍よゝゝ月のゝ○ゝる
ゝゝ喝よ八○月のゝ○ゝる
ゝゝ稲乃翅よ月の
一ゝゝ弥○なゝ出ゝ所のゝひゝ
一ゝゝらよゝ○蝶ゝのゝゝ乃ゝ
ゝひゝゝ乃蝶
一ゝゝの流よ三月ひゝ
ゝ月　ゝゝ八○ゝ面の雁ゝ
ゝの流よ三川ゝ

一人咲る花のさびしさ○花を見る
○神の家○鶴ゝ三ツ○四枝ゝ
枝ゝ花ゝ○花曇り○橋ゝ
彩のてまのひらやらし
蛍花ゝ○ゝの○ゝ
ゝ花わ○ゝ○ゝ
ゝけ○ゝ○ゝ
と付ゝ○花ゝ○わ○ゝ

一春乃秋の淋しさも花の紅葉ゝ○雲ゝ月
○ゝもゝ彩ゝ○ゝ
一仏ゝ○ゝ年ゝ
○淋の師○雲乃戸○暁の鶴○老の暁
○ゝ○ゝの中
一日の命乃ゝ○ゝ蝶の行ゝ
ぬ○家ゝ小雪乃ゝ
雨喰ゝ○ゝ

[illegible]
所器よそ。松乃一むら。[illegible]
紫金乃雲来。[illegible]
[illegible]
一撫子。[illegible]
[illegible]
一[illegible]月[illegible]
[illegible]
[illegible]

川[illegible]。[illegible]
一柳[illegible]。[illegible]
[illegible]
めくる。川[illegible]
一[illegible]
[illegible]月[illegible]
一[illegible]
[illegible]風。紫金乃[illegible]

くゝ山茨。○鄙の海苔ゝ乃ゝ
一紅葉そゝる蔦よりそゝうきゝ海の水ゝ蔦
○夕ゝそゝゝゝ小ゝ出る。○あのさのまゝ松風
一おゝゝかゝゝ入ゝ塩ゝゝきみゝ
○ゝ海ゝ。○織ゝ風ゝゝ浦
ゝ里ゝゝゝゝ
一ゝくゝゝゝ小ゝゝゝ山ゝ。ゝゝ
め。葉ゝ柳。○ゝ柳ゝ柳。○

○野中の柳ゝ。○柳ゝ
一山ゝ霞ゝゝゝ八。ゝゝゝゝゝ
○ゝゝゝゝゝゝ。○月のゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ
一ゝゝのゝゝゝゝゝ。ゝゝ
柳。○ゝゝ。○中ゝ。ゝゝゝ
○ゝゝゝゝ。○ゝゝゝゝ
一ゝゝゝゝゝゝ。○ゝゝゝ

西日と付は。豊よりふる雨。はの花の色よ

一月のあまの水のめくよ八。枝の雲。枝の雨波

。小糸引おく。流るるさほ潮　高てる

一神やのうつる岩とかるよ八。うきあるの神の多

。きさはかの。ふの言る見みきらの神

一敷とうきとかきめる神よ八。葉のうちい

のお。大宮人乃袖よ。東し市乃車とする

らて。吉日祭。加茂祭ふ　はふと付て

ぬるくいの物も絶てうきるよは

一糸竹乃ふ恋と変よるう。とく法。まを柳

ようふる夢　柳よ東あう

陰ぬりうりハ糸一筋ふ竹

のうちり見ハ丸すし

一ふの乃東風吹ふ高ふ八。夏氣りよ海を

東夏。鶴と鳴ふ　ふるふ海。くう海東

一波の紅葉よ見えくよ八。そうものとひさ

川紅。まのあのうきは。ふのあまり氏田

乃乃なりの結やうなるなり
一浦はなるうきなみなり
○久ぶるなり。松。梅の花
松そうきの淺乃夕陰と欲す沖津
ゆふ　　しまつ
ゆふ　　ゆふ
ゆふ　　ゆふ
ゆふ　　ゆふ

のこゝろ。○美みの山法
一美濃の山法師乃下ゆ。○春乃
附る美の下おく部ゑと雪ゑ
○美よ桜乃ゆ波ゆ花わけ
○弥生の部ゑ。○こてゝ
一もくせれ桜のうゝよハ。○あかゝゝく
ゝと神。○美よ吹風
一風よゝゝゝ毎よゝ。○ゝり下る分。○春の

浦波 ゆゝ波付合の心源氏乃さゝゝへの
一夕ゝゝと海ゆあゝゝよハ。○雪。松ゝ
孔。○孔乃雪と海ゝと付ん
一孔を多く海の花よハ。○海の面と波と。○向
乃松。○花ゆ。○人乃ゝひたゝゝ神波
一川面と海ゆ波と。○市の夜さ。○い
く里ゝけく。○よ前ゝゝ。○紫ゝゝ
一義ゆ本乃ゆ月ゝよハ。○夏波む

○夕風を待。ちゝ風を待。蓑月さんのうたにこれハ実をまこと
きゆうとやうなり以
一うちもめの高よ雲のかりそめ
○流まそのの様の雲。○思ひ出る都
○ちゝ神なりけ
一小野の
萩。蓑月。蓑月。初そ花。うち
一虫の○乃まれるよハ○秋乃うさる
萩蓑月のくうる 世付金の天虫の
ちゝまれる不。○の

地未ぬき。○九月
一月も今ゝ月も今ゝ月乃
ゆう。○山河ゆくうる月も今ゝ月も
一ゝまゝ月ゝ月ゝ月

一 雲乃雲の立よは。猿蓑よ鶴毎ろ
○東風吹ゑめむ。くるゝゝ春の月う
もくすう。紫人今ろう
一 夕乃浦波の殺ゑよ。毎ろ汀
○さゝ紅ゑみる。ゝ神の むゝう
ゆめ河。ゆ川乃れ
一 升 歌八ゆ新ゆろ雑も方れよ。ろ屋
懸屋。まゝ紅ゑれ。財ゑまれ

○学ひ湖をみ
一 穂ゆ むゆ乃峡よハ。いゆ 今人の心をも
ゆ。法の ゆ都。まゝ風ゑく沈。神
ゝゝ屋。 ゆ。 乃ゆゝゝ
一 ゝゝゝゆ の 屋ゝ
○ゝゝゝゆ ゝ 。湖。山風よ
雑乃ゝく祈
一 ゝゝ紅ゑれよ。養ゝ

一ことの乃遊び。浜へ出乃ちのうけあり
たるく。かたてきに。杯の当れなし
あもあのうちよみすんら
一秋の心を称も三つよハ。花の色もとろ
ゝれ
○秋ちう乃浦乃。○ひろき来　子孫のうち
一琴おしまの来ハ。あしを縫へん
花。○ひゝん等伝の。ハ　弥栄の
琴ふかう未迄ちつ夢杉山波ちに

一あをとをひあん発よハ。ぬつとをくる秋
長乃日。○ひろ乃ちゝ。○孫生当秋
ひが飛ちうへ
一月夏よる。思こを波。ひろき川つう
○ひうちうちに。○かをちよよふ
一ちうの橋よハ。ぬう。苦。古ちう谷。山ゝ
一ちう乃月のひうよる。山よ琴
のちうへ

想

ぞあ。学の問答

一和歌のよそ。海上の白波。業人

の作の独詠。梅の宿の

一松浦のよそ。嘆の乃をそ。寂く

。月。入月のよそ。雲

さよふけく吸江潮の松浦の梅の宿

寂しく松浦の海よ潮の

海の乃月のよ

一春閑なる山路乃春のよそ。月。花。寂

。花のさへぎり出るを。入るの月

新みるのかつらの月あり

寂しく月と花とそ八孫て貴もかつら

一これ所乃月のよ八。あきうかの月

ろう。梅咲の

一梨のうちの梨よ八。梅乃神。花の

のとこれ花の。園の梅れ月を

[illegible]
[illegible]
一夕月は清のみなるを。流の月。夜乃
[illegible]柳。[illegible]
一夜面の向ふ[illegible]
。[illegible]村乃[illegible]。夜乃月[illegible]
一[illegible]の[illegible]。[illegible]の秋乃月。月と書
[illegible]なり。夜の月乃
[illegible]。[illegible]の[illegible]

[illegible]月は[illegible]
一[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
一[illegible]
。[illegible]。[illegible]。[illegible]
一[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]

一雪ちりかくれぬる山の谷ふかき
ゆきの中に○かすかに見ゆる
一古木の梢より八○梅の花
一梅の花の香ハ○梅の花を
○梅の花を見て
一月とともに神よりも○秋の月
出る秋ともの○うち秋
一月の清きよハ○雪の上の月
よ秋乃月ハ○梅の花の
一月ハ○梅の花の
一梅の木立あらしよハ○初梅○名山
乃松○雪ハ○夕霧
一雲のうちなるハ○雲乃ハる○清月
○雲間ハ○春雨ふる
一ところ〳〵ハ○ひくらしの

さもとへ○潮よりかくれる心

一咲ぬるもあらぬ物をかけよ○夕露のきし

のうる○これ外乃中のうらは

一秋ぬるるもの月よ○とそれまくれ○袖

乃戸さらぬ○ぬらう○くるる夜

一形見よる○塩竈の梅ぬる○ちりの乃

撫しか山ぬさ行しの山もの村ぬ

一まの乃の外うれる○蝶のまうる海

ぬるむ外ぬる○むひもの乃ぬ

一ぬまぬ夕乃面よる○ふ見のあて行れ

のさら○あをあえ行山ちをおりみ

一おまうよる○ふひうとと紅○河ま

ぬまの中乃稲ぬ○橋○ぬのひ車

一夕乃稲よ○人を行やと○ふとを初

むひのふ○袖乃面稲よいく

一河ぬ品稲ぬよ　ぬ人ふ○村雨の外ひき

一鳴のこゑとよハ○面白きこゑ
也○古畑○くれ行の月あか
の末さいかたり
らるさるのあり

古畑の淋乃之本ハ鶴の数の字多き所
夕月夜
一夕月夜たくさきまつよそ○夕月夜○うつの月夜
秋者○ところ〻つる意○秋乃あさ
一ところ孫よ面白ハ○いさあとそもく
○なつさ哉やとゝ〻ふ　はる彩之下

一本ありよそ○吹嵐○月乃雲へ
○山のかゝり乃雲○雲
一かゝあの月よ秋よハ○ゝ月のこゑ
○海る者の行ふ〻ふ〻ふ○山ゝ〻
夜○明乃ゝ〻ゝ
一鶴ひあの杉よハ○明乃月○鶴の
ぬ○庵の雪よ秋之
一卯花乃垣ゝよそ○いさゝ〻しまの雪

○玉川乃雲　玉川の西　久ゝやまり○村雨の
松○布さらす
さゝ波せゝの山ゝかゝ　ゝ　ゝ　

一蓋の書のくれ。小簾入る月曜。新樽
酒。杉の木の蓋。美濃紙張。門無
くたくたくたくた

一夜乃鶴よりの状。阿者。月
杉。曉ときき猪。重箱神道。紙屋
一はきはきはきはきはきはきはきく
乃年。夜寒。杉乃き新乃紙乃
一枚とときの月百姓。時の張合。佐の

一蓋城。よる。蓋の樽。柳張。蓋。蓋
。白蓋。山伏蓋。入
一蓋の樽。旁。蓋の袋。
一蓋。
。蓋。蓋。入
。蓋。蓋。れ
一紙蓋。紙。
。樽。杉。杉。
一蓋。蓋。

[illegible]

一ひるまさ彩とさ[illegible]ぬるまさ。ある人
乃一筆。ゐるのむる
一紫淡。泉川乃流。[illegible]の松
[illegible]
[illegible]
一明るさひもちる月よハ。鳥[illegible]
。雪こもるあるのさ。ゐるの戸乃ひま

[illegible]
一さらくまの[illegible]ハ。夕暮の[illegible]
[illegible]よ[illegible]ひ[illegible]
松雄　[illegible]生の家
一遠かたの[illegible]
[illegible]
[illegible]の松　大ひえ　山月
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

正保二乙酉六月吉日刊行